

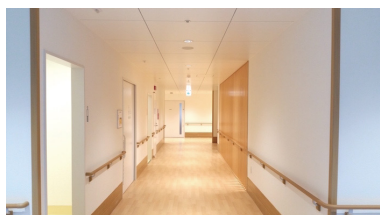
どこよりも「室名札」に誇りを持ち どこよりも「最短」でお届けし
どこよりも「楽しく」笑顔で仕事をするそれが 株式会社 フジタです。

フジタがご提案した納入事例やサインの様々な事を情報誌を通して、ご紹介致します。



納入実績

一般財団法人 多摩緑成会 緑成会整育園 サイン一式 を納入しました。



今回ご紹介するのは、東京都小平市に新設された「緑成会整育園」様です。
新築工事にて屋内サイン一式をご提案させていただきました。

全体的なイメージをすっきりとさせるため、あまり色味も使用せずに、シート文字やアクリル切文字のシンプルな仕様となっております。

中でも案内板のデザインは最後まで決まらず、ぎりぎりまでご提案させていただいたことが印象に残っております。

施設の利用者にお子様が多いということから、元々はキッズカラーを用いて様々なパターンを提案しておりました。それからカラフルな家具の色味を参考にするなどお客様のご要望に応じて何度も提案を繰返すなかで徐々にシンプルなイメージに変わっていき、ご承認をいただいたデザインは写真にあるように木目調ベースの落ち着いたデザインになりました。

フジタではUVダイレクト印刷機を導入しており、基板に直接印刷することができます。

案内板は透明アクリルに木目を裏面から印刷して、文字等の表示は表から印刷する仕様にししました。透明アクリルの裏印刷はとても高級感が出てキレイな仕上がりになります。

ダイノックシートでは裏貼りすることができないので、今回はダイレクト印刷の特性を生かした仕様で納めることができました。

他にもトイレのピクトグラムを可愛らしくしたいとのご要望から、JISピクトで提案していたものを変更してオリジナルのピクトを製作しました。施設名称サインをSUSビーズブラスト加工とヘアラインの仕上げ仕様にしたりと、シンプルながらもさり気ないこだわりがたくさんあります。時間が無い中での提案だったので、原稿を提出して承認をいただくまではドキドキでしたが、無事に納まってホッとしております。

今後もお客様に喜んでいただけるサインをご提案できるように、色々なことにチャレンジしていきたいと思います。

京都本社：市橋繁宏





納入レポ！ 京都市南区「大内眼科 様」



今回は京都府京都市南区にある、「大内眼科様」に納入を致しましたサインをご紹介します。

大内眼科様は、多焦点眼内レンズ手術、乱視矯正白内障手術の両方で、国際学会のAwardを受賞されている、国内唯一の施設だそうです。

お納めしたサインは屋外の袖看板です。何パターンかご提案させていただいた中から、デザインをお選びいただきました。京都市景観条例の関係で、使用できるシートの色や組み合わせ、比率など細かな制限があったため、何度も試行錯誤しながらようやく承認をいただくことができました。

内照式（LED）のサインですので、昼と夜で見え方が違ってきます。

シートを取り寄せサンプルを作成して、何度もデザインを練り直したりと苦労した面もありましたが、大きくて立派な袖看板を無事納入させていただくことができ、大変嬉しく思います。今後もより良いサインの提案ができるよう、経験を積み学んでいきたいと思っています。

京都本社：光宗 彩



コレが採用デザイン！



昼間（LED消灯時）



夜間（LED点灯時）

数ある提案の中から・・・



今月の1オシ

今月ご紹介するのは、総合カタログVOL.15より

新商品第2段『高齢者福祉施設

グループホームプレート』

◆居室用サイン（ネームプレートマグネット脱着式）



GHPNライト



GHPNダーク

◆平付サイン



GHP正面型ライト



GHP正面型ダーク

◆突出サイン



GHPY側面型ライト



GHPY側面型ダーク

前月に引き続き、株式会社フジタ 新カタログVOL15から新製品のご紹介です。

今まで弊社ではFWプレート（タモ材）、MPWプレート（メープル材）など、たくさんの木製素材の室名札を規格化してまいりましたが、今回初めて 無垢材（桂材）を使った製品がラインナップに加わりました。

新製品GHPプレートの大きな特徴はまずサイズ。従来の木製プレートと比較して少し控えめな12cm角と取って小さなサイズにしております。これは小規模なグループホームなどでも設置場所を選ばず、主張しすぎない大きさを意識しております。

勿論コンパクトになったからと言って機能が損なわれてしまっは、室名札としての意味はなくなってしまいます。部屋の移動に対応できるよう着脱式になっており、平付・突出に加え居室用 ネームプレート付のタイプも揃えております。

サイズは小さいですが、自然の桂材を使用したGHPプレートは存在感抜群です。

さまざまなシーンでお使いいただけるサインプレートとして、是非ご検討ください。

京都本社：今井一郎



まめ知識 コ～ナー

今回は「コミュニケーション」



今回は、某企業様が主催された『コミュニケーションスクール』を受講しました内容の中から、フジタ流に進化させた大事にしていきたいことを少しだけ紹介いたします。

◎ 仕事を支える3つの技術

知

情報収集技術

技

オペレーション技術

心
気持ち

コミュニケーション技術

● 正しい自己理解／自己肯定

『コミュニケーション』ときくと、自分と他者がいる状況で、お互いが不快にならずに情報の伝達をどれだけし合えるか、話術の向上、表現力、云々・・・と多くの人が考えてしまいがちです。私自身もそうでした。間違いではないのですが、正しくコミュニケーションをとりたい時は、まず『自分を正しく理解する事から』と学びました。

客観的に自分をみて、良くも悪くもうすぼんやりしている状態の自分を、ちゃんとした形にしてあげること。正しく自分を理解し、肯定することによって、他者を受け入れる準備ができます。

「残念な部分もある自分だけど、こんなに良いところもある！」と前向きに自分を肯定するのもコツですね。

● 明確な表現／伝えることの難しさ

『言葉』はとても不完全なものです。何も意識せずにただ言葉を発しているだけでは、伝えたい内容の7%しか伝わらないと言われています。しかし言葉を発する時に、仕草や身振り手振りを交え、感情や表現を意識することにより7%を大きく膨らませることができます。意識を持ち、経験を重ねることが重要だと思います。

そしてこの7%を膨らませ表現を豊かにすることが自分自身とは違う感覚に触れるということです。

あんまり興味がないなあ、好きじゃないなあ、と思ってしまうことにもどんどん触れていくと、表現の幅を広げることができます。うまく言葉にならない時、伝えたい事があるのにそれに対する的確な言葉が見つからない時、これは言葉のボキャブラリーだけでなく、感覚の引き出しが足りないのです。

思っていること
伝えたいこと

言葉
7%

● 傾聴／きくことの難しさ

伝えることが『言語的コミュニケーション』なのに対して、きくことは『非言語的コミュニケーション』と呼ばれ、伝えることよりも難しいといわれています。

- ・『聞く』と『聴く』の違い

『聞く』は動作のことであり、コミュニケーションにおける『きく』とは『聴く』ことです。



耳 + 目 + 心 = 聴

漢字にあるように、耳と目と心で相手の話を聞きます。

- ・積極的傾聴（良好な会話を続けるには）

- ・きいている姿勢や相手の観察。話の節々で笑顔があったり、少し角度をつけていると、話している側は安心します。
- ・あまり凝視せずにアイコンタクト程度、うなずきや相づちを効果的にうつと話も弾みます。
- ・疑問点がある場合は、話題の節目に質問をすると感じが良くなり、話をさらに掘り下げることができます。
- ・良好な会話をつづけるには、相手の言うことを否定したり話のコシを折らずに、意見を肯定してあげる気持ちが大切です。

● コミュニケーションの善し悪しを決めるのは相手

フジタの社内でも、ちゃんと伝えつつもりだったのに、ちゃんと聴いたはずだったのに、ということが少なからずあります。これがお客様への大切な連絡事項だったら大変・・・

紙面を使ったり、メモやスケジュールのシステムを確固たるものにすることはもちろん大事ですが、人と人との繋がりで問題が無事に防げたり、一つの意見から更に画期的な意見が生まれたりシステム以上の力が生まれます。

そんなプラスになる関係を、フジタというフィールドはもちろん、お客様や協力会社様と築いていきたいと思っています。

京都本社：西澤智晶



フジタの社は京都にあります。
地元ならではの京都の魅力をご紹介します。

今回ご紹介させていただくのは「^{ちおんいん}知恩院 秋の紅葉ライトアップ」です。

11月の京都めぐりは「知恩院 秋の紅葉ライトアップ」をご紹介します。

知恩院（ちおんいん）は、京都府京都市東山区に位置する浄土宗総本山の寺院です。
正式名称は華頂山知恩教院大谷寺といいます。

江戸時代に浄土宗を信仰していた徳川家康公が、知恩院を京都における菩提所と定めました。
江戸以降には寺領が拡大され徳川将軍家から庶民まで幅広く信仰を集め、今も京都の人々から親しみを込めて「ちよいんさん」「ちおんいんさん」と呼ばれています。

そんな知恩院で秋に行われている夜間特別拝観の紅葉ライトアップ。今年は11月3日から12月4日までの期間で行われます。

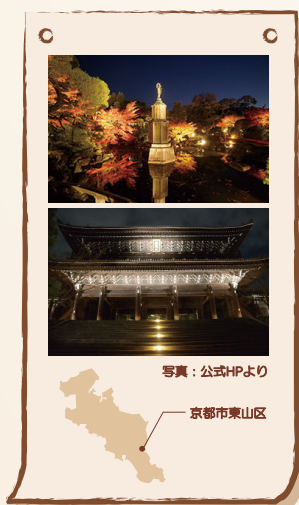
今年は三年ぶりとなる国宝の三門のライトアップが注目されています。三門は日本最大級の木造二重門として知られており、悟りの境地に到る「空門」「無相門」「無願門」を表すことで三門といいます。

三門の他にも宮崎友禅斎の生誕300年を記念して造園された、昭和の名庭「友禅苑」や、高さ4.8mの阿弥陀如来立像、四天王が祀られている「宝佛殿」がライトアップされます。

通常拝観も同時に行われておりますが、夜間のライトアップはより幻想的な紅葉を楽しむことができます。7万3000坪もある境内で広範囲の紅葉を観賞することができ、特に国宝である三門と紅葉の組み合わせは見応えがあること間違いなしです。

是非 秋の夜長にご観賞されてはいかがでしょうか。

京都本社：関根なつき



写真：公式HPより

京都市東山区

☐ 総本山 知恩院 公式HP

<http://www.chion-in.or.jp/index.php>

フジタスタッフの広場

出荷梱包：山内君子 入社32年目 京都本社勤務

こんにちは。出荷梱包作業を担当している山内君子と申します。

弊社の会長とたまたま共通の趣味である卓球をするようになったことがきっかけで、お声がけしていただき今年で勤続32年になります。

梱包作業では、規格の箱に入らない商品に合わせた箱造りが得意です。

外出先で設置されている弊社の商品を発見した時に、多くの人々の役に立っていると感じる仕事が仕事のやりがいに繋がっています。

フジタの良い所はスタッフのみんながとても仲の良い所で、いつも協力し合い作業しています。

そんな仲間との社員旅行は、年に一度の楽しみのひとつです。

これからも弊社の商品を宜しく願っています。



カタログご請求・会社見学も随時受付しております。

詳しくはHPまで <http://www.fujitanet.co.jp>

新総合カタログVol15 配布中！



2016年9月発行

本会社見学開始 受付中！



ECOへの取り組み

フジタ京都本社にはソーラーパネルがあります！



3.11東日本大震災を契機に弊社でも、「限りある資源」を考え京都本社ビルに、ソーラーパネルを設置し、社内照明をLEDに変えました。オフィス内に電気使用量の測定器を取付けし、社員ひとりひとりのECOへの意識が高まっています。

お問い合わせ 株式会社 フジタ ご連絡を頂きましたら、担当者が迅速に対応いたします！

京都本社
担当：今井



Tel. 075-592-7550 Fax.075-592-7524

E-mail:info@fujitanet.co.jp

〒607-8147 京都市山科区東野森野町 46-4

東京支店
担当：鳥羽



Tel.03-3556-6540 Fax.03-3556-6931

E-mail:tokyo@fujitanet.co.jp

〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 プライムビル 6F